

学生支援の現場から

◆ 青山学院大学
学生支援ツールとしての
学生ポータルサイト「EagoWing」の構築
西川 豊
(学生部厚生課長)

実社会に於いても、大学に於いても、多くの情報の中から自分自身との関係を見出し、その内容を理解し、諸事の解決に適用する知恵と力を持つことは、大切な事であり、青山学院大学（以下「本学」）の教育方針や理念と符合する事でもあります。

本学では、一九九六年より学生への情報発信を、従来の掲示板に代わり、学内利用環境での学生支援ツール「学生情報サービス」によって運用してきました。二〇〇三年四月からは学外パソコンや携帯電話からの利用が可能になる等、幾つかの機能やサービスの拡張を経りましたが、より一層のサービス向上と学生のニーズに対応すべく、二〇〇七年四月より下記キーワードに基づきリニューアルした

学生ポータルサイト「EagoWing」の運用を始めました。
ヘ 키워ドV
■ 学びあう場をWeb上で提供
■ 学生・教員・事務職員の相互コミュニケーションの実現
■ 授業・学習支援を強化するシステム
■ ワンストップ（一つの窓口）＋ノンストップ（二四時間
三六五日）なサービスをWeb上で実現（一フロアーに
集約する構想）
■ コンテンツ保有各
部署との連携
「EagoWing」には、
以下の三コンテンツ
の区分があります。
(図1を参照)
① 授業支援コンテンツ
ここでは、授業ご
とのページが作成さ
れ、授業に関する情
報が集約されており、

図1 学生ポータル

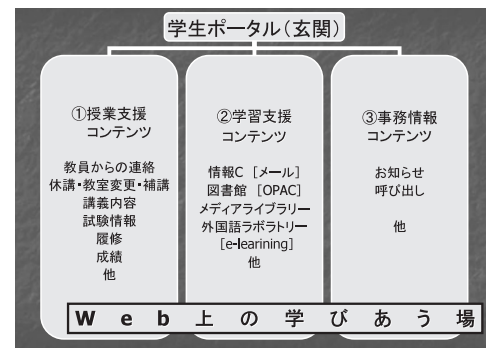


図2 実際の画面イメージ



教員から受講生へのメッセージ、随時更新される最新のシラバスの提供、将来的にはLMS（授業録画等の授業支援システム）などが用意されています。

② 学習支援コンテンツ

各教育関連部署にて用意されているコンテンツの集約された入口が用意されています。例えば、学内にて開催されているIT講習会、図書館のオンラインサービス、e-learningなどの入口が用意されています。

③ 事務情報コンテンツ
ここでは、主に各事務部署からのお知らせや呼び出しなどが、視覚的に分かりやすく提供されます。
運用開始から約一年が経過し、開発当初の構想の実現と更なる内容の充実を目指していますが、ただ新たなサービスを始めていくのではなく、日常において学生の一人一人と、直接のやり取りをする事の大切さを振り返る事が、更に良い学生支援ツール実現への近道と考えています。

学内利用環境での利用風景

